

昂齊支線	三間房・齊齊哈爾	3	30.4
洮索線	白城子・王爺廟	6	82.9
榆樹線	榆樹屯・昂昂溪	4	6.4
計			1,186.4

(2) 満州国成立後満鉄がその委託によって建設経営した鉄道

線名	区間	完成期	キロ程
敦図線	敦化・図們江	昭和 8・5	189.9km
天図線	朝陽川・上三峰	9・3	59.5
拉浜線	拉法・浜江	9・1	287.3
海克線	海倫・克山	8・2	167.9
泰克線	泰安・克山	7・10	46.4
拉訥線	拉哈・訥河	8・12	38.8
坂凌線	金嶺寺・凌源	9・5	156.7
北辰線	北安・辰清	9・10	136.8
図寧線	図們・寧北(牡丹江)	10・1	248.7
辰黒線	辰清・黒河	10・2	166.0
凌泉線	凌源・平泉	10・1	87.2
洮索線	王爺廟・索倫	10・3	107.9
洮大線	白城子・大賚	10・10	119.0
京大線	新京・大賚	10・6	214.8
葉峰線	葉柏寿・赤峰	10・9	147.1
寧林線	牡丹江・林口	10・7	110.0
林密線	林口・密山	10・12	170.9
索興線	索倫・南興安	11・1	130.8
泉承線	平泉・承德	11・3	97.4
四西線	四平街・西安	10・12	82.5
図佳線	林口・佳木斯	12・1	224.5
虎林線	密山・虎林	11・11	160.9
新義線	新立屯・義県	12・4	131.5
梅通線	梅河口・通化	12・6	130.1
訥墨線	訥河・墨爾根	12・4	93.5
梅輯線	通化・輯安	14・5	100.8
龍豊線	龍潭山・大豊満	13・8	22.7
錦古線	承德・古北口	13・4	106.3
汪北線	汪清・北荒嶺	13・11	82.4
溪城線	宮原・泉水	14・7	51.1
綏神線	綏化・神樹	13・12	135.8
綏寧線	綏陽・東寧	14・6	96.2
計			4,082.7

(昭和 14 現在)

5 国民政府の戦後鉄道の経営

1945 年終戦によって華北、華中、華南の占領鉄道はもちろん、満州の鉄道もすべて中国に接收されるに至った。ただ帝政ロシア時代に建設された旧東清鉄道についてはすでに米・英・ソ 3 国のヤルタにおける密約によって、ソ連が帝政当時の利権を回復することに定められていたので、国民政府は 1945・8・14 余儀なくソ連との間に中ソ友好条約を締結し、この鉄道を中ソの共有共営とすることとし、中ソ合弁の中国長春鉄路公司を設けた。

戦後国民政府はまずその鉄道網の整備をもって国家再建の第一歩であるとして、内外資本によって、つぎのような延長 13,866 km におよぶ戦後第 1 次 5 箇年建設計画の実施を定めた。

貴陽・威寧	416km	露益・威寧	260km
重慶・貴陽	530	重慶・成都	530
成都・広元	345	天水・広元	410
天水・蘭州	378	蘭州・哈密	1,636
西營・來賓	455	清江・贛県	405

曲江・贛県	247	歙県・貴溪	315
貴溪・南平	280	閩侯・南平	150
南平・漳平	220	漳平・梅県	230
石龍・梅県	330	漳平・漳州	172
包頭・寧夏	557	蘭州・寧夏	450
開封・済南	400	湘潭・芷江	498
都勻・芷江	357	成都・樂山	165
内江・樂山	180	樂山・康定	406
安寧・蘇遠	844	蘭州・西寧	250
承德・通遼	600	長治・清化	170
花園・襄陽	260	三水・柳州	530
威寧・宜賓	440	宜賓・自流井	115
黎塘・鎮南関	355	計	13,886

ほかにつぎの車両および資材製造工場の建設をも計画した。

工場数	設置地	年産
機関車製造工場 2	西安、株州	600 両
車両製造工場 3	武昌、西安、北京	客車 1,000 両 貨車 10,000 両
鋼鉄部品製造工場 2	株州・太原	鋼鉄部品 70,000 t 車輪タイヤ等 70,000 t 鋳鋼 25,000 t
空気制動機製造工場	武昌	15,000 組
橋梁製造工場	湘潭・天津・宝雞・柳州	17,000 t
信号通信設備製造工場	適当な地点	

戦後鉄道建設第 1 次 5 箇年計画所要資金概算表

項目	内容	単位	数量	内資(千元)	外資(千ドル)
工事費	国内資材を含む	km	13,886	1,388,600	
建設資材	軌条及部品	t	1,524,000		99,300
	枕木	丁	25,245,000		25,245
	橋梁資材	t	316,000		31,600
	建設器材	t	317,000		64,700
	信号及通信	t			19,450
機関車 車両 修理工場	機関車	両	2,300		104,000
	客車	"	3,000		60,000
	貨車	"	27,000		54,000
	機関車修理工場		9		13,200
	車両修理工場		18		14,100
	建屋		95		9,500
製造工場設備	信号通信設備修理工場		6		900
	機関車製造工場		2	32,200	18,400
	車両製造工場		3	28,875	16,500
	鋼鉄部品製造工場		2	28,875	16,500
	空気制動機製造工場		1	2,625	1,500
合 計	橋梁製造工場		4	40,250	23,000
	信号・通信設備製造工場		2	14,000	8,000
合 計				1,535,425	579,895

しかるにいくばくもなくして、蒋介石のひきいる国民党と毛沢東の指導する中国共産党との間に内戦が起り、上掲の計画は実行しえなくなったばかりでなく、国民党軍は至るところにおいて敗北を喫した結果、国民政府は 1949 年ついに大陸を放棄して、台湾により、わずかに台湾鉄道 4,000 余 km を有するに過ぎなかった。

6 中共統治後の鉄道建設経営

(1) 戦後の復旧建設